所

医

俊

青森県タバコ問題

懇談会

協会

光

結成シンポジウム

行

保 険

〒030-0813 青森市松原一丁目2番12号 青森県保険医会館内

電話(017)722-5483 FAX(017)774-1326 郵便振替 盛岡 3070 購読料 1ヶ月 200円 (購読料は会費の中に含まれています)

河原木

明るく楽し

CJ

禁煙活

動を展開

が

青森県の喫煙問題を考える

発

県

森

発 行

- 協会の重点の要求 ▲国民、患者そして保険医も喜べる 医療保険制度の確立! ▲経済審査を廃し、医学的根拠に基
- づいた審査体系の見直し! ▲技術料評価を重点にした診療報酬 の引上げ、冬期暖房料の保険給付!
- ▲違法的な税務調査の廃止と民主的 な税制の確立を!

439 묵 9月1日号



歯科医師、 開催された。 を考える」 ポジウム 四十名が参加した。 題懇談会と本会共催よるシン 八月二十八日、県タバコ問 「青森県の喫煙問題 行政、 が、県教育会館で 参加は、医師、 市民など、

過や、 視しているとし、「医療・教育・ 組みの必要性を述べた。特に 談会世話人・蓮尾豊先生が、 同会の発足から現在までの経 ていこう」と呼びかけた。 学校現場と医療との連携を重 い禁煙活動』を一緒に展開し 開会挨拶で、タバコ問題懇 無煙社会に向けた取り 『明るく楽し 続いて、

は全国平均を上回っている ある。 でもタバコ問題は重点項目で 部保健衛生課・宮川隆美氏が 後援をした県から、 来賓出席した。 同氏は、「健康あおもり21 本県は男女とも喫煙率 全国一位の短命県で 健康福祉

普及させていきたい」と もある。私どもは皆様方 挨拶した。 県に広く禁煙問題を 緒にタバコ問題を考 ■幼児向けにエプロン

と

朗両先生をコーディネー ターに進められた。 話人・山崎照光、久芳康 シンポジウムは、 一地域、 若者の 関心高い」 村の禁煙対策」と題し、ユニー クな防煙教育エプロンシア 真澄さん(保健師)が「小泊

を紹介した。これは幼児

-、シンポジストのみなさん

シンポジストの一人 村の保健師や保育所職員等で 向けの防煙教育の教材として

ーディネータ

県薬剤師会・金田一氏さん



小泊保健センター・三和さん



青森山田高校・宮本さん

根康弘元首相)

(例えば中曽 などに加え

て若造評論家たちが張本人



司会の成田世話人

開催挨拶する蓮尾世話人

「薬剤師会の取り組み」につ 県薬剤師会地域保健委員 一成子さんは

動かしながら実演、

「幼少期

毅然とした態度で臨む必要が 退職処分がされることなど

際にエプロンを舞台に人形を 作成したもの。三和さんは実 同シンポジウムの

煙に関する関心が近年高まっ なった」と、 若い人が興味を示すように 客施設で行う啓発活動では、 依頼されるようになった。集 てきていることを報告した。 人式でタバコについて啓発を これまでの活動により、「成 地域や若者の禁 は、 る」と述べた。 将来の無煙世代育成につなが い知識に触れさせることが、 からタバコの害について正し

■妊産婦への 禁煙支援プログラム

司先生(医師)は「青森県に

弘前大学公衆衛生・坂野晶

遅れを指摘

おけるタバコ問題の分析」に

ついて述べた。

同先生が独自に考えたタバ

コの害から守るために一県看 護協会助産婦職能委員会の取 県看護協会・角田つねさん 「妊産婦と子どもをタバ

産婦への禁煙支援プログラ ことを目的に作成された「妊 科施設における禁煙指導の実 態調査結果をもとに、 平成十四年度の県内産婦人 一施設

り組み」について報告した。 れは、 五 四 ≒ 二

小泊村保健センター・三和

シアターで防煙教育

SPA方式」を紹介した。こ コの評価方法として、「VE タバコ自販機対策 禁煙席の確保 未成年への教育 農業問題の対策、 パブリックスペース

五つの観点から調査した結 など



軍

会場の拍手で採択された。

煙社会向けて「十の提言」

が

シンポジウムの最後に、

弘前大学公衆衛生学 · 坂野先生

ンピラ政治屋か、

戦争で儲

しみも悲しみも知らないチ

県看護協会・角田さん

ている。 員の学校内敷地内 いる」とし、教職 される前から禁煙 禁煙などを実施し の取り組みをして 健康増進法が施行 同校の生

共催

青

内でタバコを吸った教師にも たら即退学、 は、 タバコを吸っ 徒

として、 める意見が数多く出され、 組みの必要性を強く訴えた。 これらの結果から、 自由討論では、小、

■禁煙支援取り組みの

あるとした。

発信を進めていくことを確認 どで連携して禁煙対策や情報 策の遅れを指摘、禁煙の取り 現場での禁煙教育の必要を求 果を報告した。 医療、教育、行政な 中学校



正さんが「山田高等学校 シップにより、本校は の取り組み」について紹 高等学校副校長・宮本 介。「校長の強いリーダー ■健康・秩序を守るため ム」について紹介した。 [人目は、青森山田 毅然とした対応

ディネーターの久芳 (上)山崎(左)両世話人

瞰

日は終戦の日だ。終戦 図 日、同じく九日は 爆弾が投下された 六日は広島に原子 日十五日。 こんな句があ 八月や六日九 同じく九日は そして十

間もなく新しい憲法が制定 から明るい光の世界へと解 けではない。気持ちの上で うにしていた。電燈の光だ 戦の日と称しているだけの ポツダム宣言を受諾、 争が出来る改憲の動きが盛 誓いを忘れ、 らしい平和文化国家になる された。戦争はしない、 される軍隊も嫌いだった。 放された喜びだった◆戦争 閉じ込められていた闇の中 も、がんじがらめに縛られ、 ため、光が外に洩れないよ 中も町中も急に明るくなっ なってきたが、その日の嬉 その日のことも実体験とし りヒロヒト天皇が敗戦をラ 示した無条件降伏の条件、 といっても地震や洪水など んになってきた。戦争の苦 ことだろう◆だが今やその 隊も持たない、なんと素晴 しさは忘れられない◆家の て知ってる人が年々少なく ことである。戦争のことも、 始め、負け戦となり、 わけではない◆国が戦争を は厭だった。すべてを強制 シオ放送した日のことを終 目然現象が自然に終息した それまでは燈火管制の 軍隊を持ち戦